

| | | | | | | | |
|------------------------|--|-----------|-----------|------------|----------------|--------------|--|
| レビュー項目 (事業名) | 教員採用試験応募者確保のための新たな広報アプローチの検討（教員採用試験工夫・改善事業） | | | | 部（局） | 教育委員会事務局 | |
| | | | | | 所管課 | 教職員人事課 | |
| | | | | | 担当班 | 採用・育成班 | |
| | | | | | 連絡先 | 078-362-9385 | |
| 開始年度 | 昭和46年度 | 終了年度 | — | 関連計画等 | 第4期ひょうご教育創造プラン | | |
| 事業区分 | <input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業 | | | | | | |
| 実施方法 | <input checked="" type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他() | | | | 実施主体等 | 兵庫県 | |
| 事業目的 | これからの教員には、変化の激しい時代にあって、子どもたちに自ら学び自ら考える力や豊かな人間性を育成する教育を行うことが求められていることから、教員の魅力ややりがいを発信するとともに、採用試験の内容・方法を改革することにより、変化の時代を生きる社会人に必要な能力を十分に兼ね備え、様々な得意分野を持つ優秀な人材の確保を促進する。 | | | | | | |
| 事業概要 | 1 教員を目指す人を増やすため、大学生・高校生への説明会やガイダンスの改善・充実を図る。 2 応募者数確保のために、採用試験実施の周知活動を実施する。 3 教科指導力の高い教員を確保するため、試験内容の改善を図る。 4 得意分野をもつ個性豊かな教員を採用するため、特別選考、一次免除、加点措置等を実施する。 | | | | | | |
| 業務フロー | 募集要項の公開、周知（4月初旬） → 募集開始（4月上旬） → 教員採用試験説明会（4月上旬） → 応募〆切（5月中旬） → 選考試験（6月～8月） → 合否判定、合格発表（9月中旬） → 翌年度の方針、内容の決定（10月～2月） → 採用（翌年4月） | | | | | | |
| R4レビュー時の外部委員会意見 | <ul style="list-style-type: none"> ・教員の負担削減のためオンデマンドの教材作成を県として推し進めるとともに、働き方改革に取り組んでいることをPRしてはどうか。また、先進的な取組をしている先生をフューチャーしていくことで訴求していくべき。 ・教員像のあるべき姿を教育委員会として提示すべき。加えて、アウトプット指標に業務改革、働き方改革を位置づけ、取組の成果をエビデンスとして見える化し、学生にPRするべき。 ・試験日が近畿で統一されているが、民間のようにもっと早くスタートできないか。民間の就職活動の早期化で、教員採用試験が不利になっているので、大学3年次からの受験を認めてもよいのではないか。 | | | | | | |
| 改善結果 (改善状況取組過程) | <ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県の教育の魅力、特色及び求める教員像、ワーク・ライフ・バランスの取組等を盛り込んだ教員募集PR動画を令和4年度よりダイジェスト版を含めて現在12本作成し、教育委員会のホームページ上にてアーカイブ化するとともに、大学説明会等において放映等に活用するなど広報活動の充実を図ってきた。 ・令和6年度実施の教員採用試験より、大学3年生へ出願資格を拡大し、第1次選考試験を受験可能とした。第1次選考試験の合格者は、次年度実施の第1次選考試験を免除とし、第2次選考試験から受験することとしている。 ・教員採用試験実施日の早期化については、近畿で統一日を設けて採用試験を実施しているため、重複受験者が少なく、合格後の辞退者数も少ない状況である。現在、文部科学省を中心とした協議会において、全国での共同実施に向けた検討を行っており、他府県の動向にも注視しながら検討していく。 | | | | | | |
| 事業に要するコスト | 区 分 | | 4年度決算額 | 5年度決算額 | 6年度当初予算額 | 7年度当初予算額 | |
| | 事業費① | | 7,003 千円 | 7,428 千円 | 8,082 千円 | 10,129 千円 | |
| | 経費内訳 | 報酬・賃金 | 88 千円 | 88 千円 | 88 千円 | 88 千円 | |
| | | 委託料 | 879 千円 | 1,176 千円 | 1,429 千円 | 3,970 千円 | |
| | | 補助金・交付金 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | |
| | | 貸付金 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | |
| | | その他 | 6,036 千円 | 6,164 千円 | 6,565 千円 | 6,071 千円 | |
| | (財源内訳) | (国庫) | (0千円) | (0千円) | (0千円) | (0千円) | |
| | | (特定) | (0千円) | (0千円) | (0千円) | (0千円) | |
| | | (起債) | (0千円) | (0千円) | (0千円) | (0千円) | |
| | | (一般財源) | (7,003千円) | (7,428千円) | (8,082千円) | (10,129千円) | |
| | 予算額② ※精算補正前の予算を記載 | | 7,003 千円 | 7,428 千円 | 8,082 千円 | 10,129 千円 | |
| | 執行率((①/②)×100) | | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | |
| | 人件費③ (a+b+c) | | 従事人員 8.7人 | 従事人員 10.7人 | 従事人員 11.0人 | 従事人員 11.5人 | |
| | | | 71,836 千円 | 88,275 千円 | 95,920 千円 | 103,466 千円 | |
| 職員給与費 | a | 62,083 千円 | 76,569 千円 | 83,589 千円 | 90,885 千円 | | |
| 賞与引当金繰入額 | b | 5,072 千円 | 6,356 千円 | 6,413 千円 | 6,831 千円 | | |
| 退職手当引当金繰入額 | c | 4,681 千円 | 5,350 千円 | 5,918 千円 | 5,750 千円 | | |
| 総コスト(①+③) | | 78,839 千円 | 95,703 千円 | 104,002 千円 | 113,595 千円 | | |

レビューシート（令和4年度レビュー対象事業：フォローアップ型）

様式3

| | 指標名 | 区分 | 4年度実績 | 5年度実績 | 6年度見込 | 7年度目標 | 最終目標【年度】 | |
|------|---|----------------------|---|------------|---|------------|------------|--|
| 評 | 成果指標(アウトカム指標①) | 目標 | 6.0 | 6.0 | 6.0 | 6.0 | 6.0 | |
| | | 実績(見込) | 4.6 | 4.0 | (3.6) | (6.0) | 【-】 | |
| | | 教員採用試験の競争倍率 | (単位当たりコスト) | (17,139千円) | (23,926千円) | (28,889千円) | (18,932千円) | |
| | | 達成率(見込) | 76.7% | 66.7% | (60.0%) | (100.0%) | | |
| | 成果指標(アウトカム指標②) | 目標 | 2,200 | 2,200 | 2,200 | 2,200 | 2,200 | |
| | | 実績(見込) | 1,418 | 1,372 | (1,307) | (2,200) | 【-】 | |
| | | 大学新卒者数の出願状況(人) | (単位当たりコスト) | (56千円) | (70千円) | (80千円) | (52千円) | |
| | | 達成率(見込) | 64.5% | 62.4% | (59.4%) | (100.0%) | | |
| | 価 | 成果指標(アウトカム指標③) | 目標 | | | | | |
| | | | 実績(見込) | | | | | |
| | | | (単位当たりコスト) | - | - | - | - | |
| | | | 達成率(見込) | - | - | - | - | |
| 指 | 活動指標(アウトプット指標①) | 目標 | 120 | 120 | 120 | 120 | 120 | |
| | | 実績(見込) | 83 | 104 | (107) | (120) | 【-】 | |
| | | 大学説明会の実施回数(年2回の実施回数) | (単位当たりコスト) | (950千円) | (920千円) | (972千円) | (947千円) | |
| | | 達成率(見込) | 69.2% | 86.7% | (89.2%) | (100.0%) | | |
| | 活動指標(アウトプット指標②) | 目標 | | | | | | |
| | | 実績(見込) | | | | | | |
| | | (単位当たりコスト) | - | - | - | - | | |
| | | 達成率(見込) | - | - | - | - | | |
| | 活動指標(アウトプット指標③) | 目標 | | | | | | |
| | | 実績(見込) | | | | | | |
| | | (単位当たりコスト) | - | - | - | - | | |
| | | 達成率(見込) | - | - | - | - | | |
| 標 | 終期設定 | 有 () | | | | | 無 | |
| 改善基準 | | | | | | | | |
| 自 | 評価の視点 | | 評価 | | 目標に対する達成状況(総合的評価) | | | |
| | <p>○有効性(評価指標に対する実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか など | | <p>特別選考の新設・拡大等や但馬地域に試験場を新設したことにより、様々な得意分野を持つ優秀な人材や地域の教育課題に積極的に向き合うを教員の確保を図った。また、PR動画のデジタルサイネージ、説明会での放映など視聴機会の拡充などによる競争倍率の増加を図ったが、直近3年間は目標達成に至っていない。</p> | | <p>C : やや満足のない実施状況</p> <p>教員採用試験の倍率低下が全国的に問題となっている中、兵庫県は比較的高倍率を維持できているが、直近3年間は目標達成には至っていない。優秀な教員を採用するためには教員の魅力発信の拡充及び周知方法等を検討し、教員採用試験応募者数の確保が必要である。</p> | | | |
| 評 | <p>○効率性(最小のコストで最大の効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫を行っているか など | | <p>教員採用試験説明会の実施内容の動画配信や、公式X上での情報発信により、出願手続に関する問合せが減少し、業務負担の軽減が図られた。</p> | | | | | |
| | <p>課題・今後の方向性</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他</p> <p>説明 } 教員採用試験説明会等での動画の活用にて、教員像等が明確となり、教員志望につながった等一定の評価はあるものの、採用試験競争倍率については、依然目標値には届かず、低下傾向である。関東圏受験者の合格率が高い傾向にあることから今年度より東京試験会場を新設することで、より優秀な教員確保に努める。新設の東京会場の動向について効果分析を行うとともに、関東圏の在住する大学生等を中心とした幅広い広報・周知方法について、引き続き検討していく。</p> | | | | | | | |
| 外部委員 | <p>○委員会の意見を踏まえ、教員の魅力や働き方改革の取組を盛り込んだPR動画の作成・活用、大学3年生への出願資格拡大、東京試験会場の新設など、具体的かつ戦略的な改善が進められており、自己評価はCであるものの、積極的な対応が評価できる。</p> <p>○特に、動画配信やSNS活用による情報発信の強化は、業務負担の軽減にもつながっており、効率性の観点からも有効な施策といえる。</p> <p>○一方で、競争倍率や大学新卒者数の出願者数は依然として目標に届いておらず、教職の魅力をもっと広く伝えるための継続的な工夫が求められる。今後は、東京会場の効果検証を通じた広報戦略の見直しや、教員像の明確化・可視化を通じた志望動機の醸成など、より一層の改善が期待される。</p> <p>○また、作成された動画の再生回数や反響(コメントなど)を収集し、今後の展開に生かすことが期待される。</p> | | | | | | | |
| 意見 | | | | | | | | |